

群馬県 浅間家畜育成牧場

牧場実習のご案内



群馬県浅間家畜育成牧場
群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢2032-23
TEL 0279-84-2074
Mail: asama@pref.gunma.lg.jp

浅間家畜育成牧場 牧場実習について

1.これまでの牧場実習

対象学校：農業高校（県内）、農業大学、農業専門学校、獣医師・畜産系大学（関東周辺）

- ・ **研修時期**：学生の夏休み時期に実施
- ・ **研修日数**：高校生5日間、大学生、専門学校生1～2週間
- ・ **研修内容**：現場実習・・・育成牛の飼養技術、繁殖技術、牧草地管理技術、飼料生産技術
座学研修・・・牛の生理や牧草生産に関する基礎知識等
- ・ **研修施設**：建物は昭和44年建築。相部屋（4人）、風呂は男女共用
- ・ **研修費用**：無料

2.今後の牧場実習

対象学校：農業高校（県内）、農業大学、農業専門学校（関東周辺）、獣医師・畜産系大学（全国）

- ・ **研修時期**：周年を通じ受け入れ
- ・ **研修日数**：教育機関および実習生の希望に応じ受け入れ
- ・ **研修内容**：現場実習・・・育成牛の飼養技術、繁殖技術、牧草地管理技術、飼料生産技術、**I C T活用技術**
座学研修・・・牛の生理や牧草生産に関する基礎知識、**畜産現場における I C Tの活用知識**
- ・ **研修施設**：**令和7年度新築**。一人部屋、風呂は共用だが男女別
- ・ **研修費用**：食費のみ徴収予定（1,500円/日程度）

R8～ 浅間家畜育成牧場 牧場実習内容

1.家畜管理実習

放牧牛管理（春～秋）

- ・ 250 h a の広大な放牧地に400～500頭を放牧。



牛舎飼養管理（周年）

- ・ 繁殖実施時期の育成牛（12～16ヶ月齢）は周年牛舎管理
冬季は全ての牛を牛舎で管理。
- ・ 牛舎は300頭収容のフリーストール牛舎が2棟（合計600頭収容）
R 5～6 年度に新築。



繁殖、疾病管理

- ・ 繁殖業務（人工授精、受精卵移植）は牛舎において実施。
- ・ 疾病管理（獣医師）は当該在籍の獣医師と疾病、傷害の治療、予防等



R8～ 浅間家畜育成牧場 牧場実習内容

2.飼料生産実習

牧草収穫（春～秋）

- ・ 150 h a の広大な採草地で大型機械を使用し収穫（機械作業は見学のみ）



飼料調製、給与

- ・ 牛舎飼養牛に T M R （混合飼料）を給与。



浅間家畜育成牧場 飼養管理施設(研修施設)のリニューアルについて

浅間家畜育成牧場 研修施設 周辺図



④ 監視舎(牧場内診療所)

- ・家畜管理事務所
- ・管理用具や薬品の保管
- ・血液検査、カルテのチェック等を行う



③ 病畜舎

- ・病畜を隔離し、治療する牛舎
- ・4つの独房で管理が可能



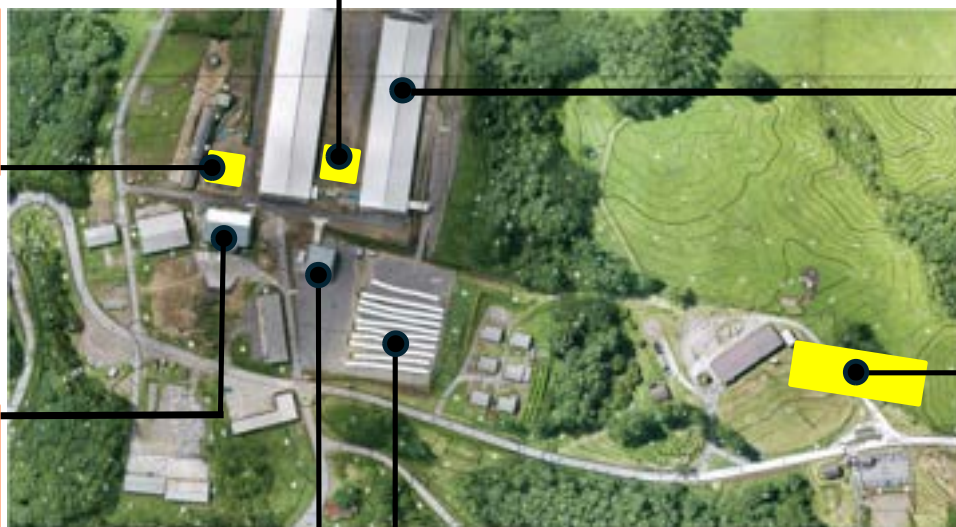
② 集中管理牛舎

- ・飼養管理を行う牛舎
- ・A、B牛舎合わせて600頭が収容可能



⑤ 導入牛舎

- ・入牧牛を受入れる牛舎
- ・毎月約40頭が入牧する
- ・約3週間の飼養で馴致を行う



① 研修施設

- ・実習生が生活する建物
- ・座学研修を行う教室
- ・14室の宿泊室
- ・食堂、洗面所、浴室等



⑥ 飼料調製庫

- ・混合飼料を調製する倉庫
- ・粗飼料と濃厚飼料をミキサーで混合し、給与する



⑦ チューブバッグサイレージ

- ・冬季のための貯蔵飼料
- ・専用の機械を用いてバッグ内に牧草を詰め込み、発酵させる

ICT機器を活用した管理

①行動モニタリングシステム

- ・センサー内蔵タグにより発情・健康状態をモニタリングするシステム
- ・牛の個体情報、繁殖履歴、健康状態等のデータをタブレットで管理
- ・データを活用して疾病予防や繁殖の改善



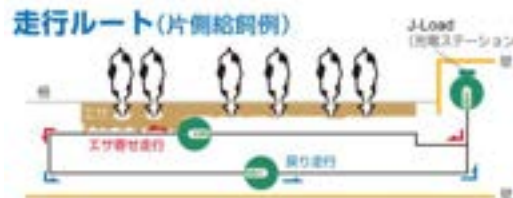
②頭数管理タグ

- ・牛に装着し、放牧地・牛舎における頭数を管理するタグ
- ・エリアごとの頭数をカウントし、作業時間の短縮とカウントミス回避



③エサ寄せロボット

- ・散らかしたエサを牛の届く範囲に自動で寄せる装置
- ・飼料を牛が食べやすい位置に移動させ、採食量の増加と残さが減少



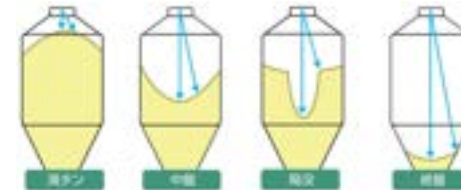
④牛追いドローン

- ・放牧中の牛追いを上空から安全かつ効率的に行うドローン
- ・スピーカー搭載ドローンにより、牛追いの時間短縮・負担軽減
- ・草地の空撮により、草高・草量の把握が可能



⑤飼料タンク残量管理センサー

- ・遠方にある配合タンク内の飼料の残量を遠隔でモニタリングするIoTセンサー
- ・補充のタイミングがわかりやすくなり、在庫管理の負担軽減



タブレットによる一元管理



預託牛の健康状態をモニタリングするシステムや必要となる情報を閲覧できる電子カルテを運用し、一元的な管理を実施する。

実習中の生活

1. タイムスケジュール

7:00	8:00	8:30	9:00	12:00	13:00	15:00	17:15	18:00	19:00	22:00
起床、朝食	実習準備	朝礼	実習	昼食	自習	実習	実習終了	夕食	入浴	就寝

2. 食事

- ・ 平日は昼食、夕食は賄い食事を提供。朝食はセルフサービスでご飯・納豆、トースト等
- ・ 土、日曜日は近隣の業者から弁当を配達

3. 実習中の休息日

- ・ 基本的には2日/週を休息日とするが、教育機関および実習生の希望により1日/週とすることも可能
- ・ 実習期間中は原則、外出禁止とするが、届出により外出可能

浅間家畜育成牧場 新研修施設

研修室

- ・各種研修を実施
- ・学生実習においては、ICTを活用した座学研修等を実施

食堂

- ・最大30人が同時に使用可能な広い食堂
- ・浅間山と放牧地を大きな窓から眺めながら食事

宿泊室

- ・プライバシーが保護され、より快適に休息できる
- ・窓からは浅間山と放牧地を眺望

洗面所

- ・研修生専用で男女別の洗面台及び洗濯機を設置
- ・待ち時間が少なく快適に使用できる

浴室

- ・ユニットバス及びシャワールームそれぞれ男女別で設置
- ・最大4人同時に使用可能となる

全館Wifi環境完備！



実習時期・期間の決定と来場方法

1.実習要望と日程調整について

- ・ 3月に年間の要望概況と4～6月の具体的な要望調査を実施。
- ・ 5月に夏休み期間中（7～9月）の要望調査を実施。
- ・ 9月に10～12月の要望調査、12月に1～3月の要望調査を実施。
- ・ 要望調査の状況により調整を実施し、実習期間を決定

2.来場方法

- ・ 原則は公共交通機関を利用し、家族等の送迎以外の自家用車利用は不可（交通費は自己負担）
- ・ 浅間牧場、北軽井沢バス停までは牧場からの送迎有り。
 - 北陸新幹線軽井沢駅下車 草軽交通バス草津温泉行き、浅間牧場停留所下車
 - JR吾妻線長野原草津口駅下車 草軽交通バス北軽井沢行き、終点下車
 - 横浜駅、渋谷等（東急バス）草津温泉行き、北軽井沢停留所下車